

■蔡温(具志頭親方文若) 徳川幕府創設期の久米村の名家で、王府の修史家_蔡鐸の次男に生まれる。

さいおん

好色一代男・1682= 琉球に定住した中国人の居留区久米村の名家で、王府の修史家_蔡鐸の次男に生まれる。

堀田正俊暗殺1684= 2歳 :

別子銅山始・1691= 9歳 :

生類憐令頂点1695=13歳 : この頃、友人と口論して馬鹿にされ、発奮して勉学に励むようになる。

..... 1697=15歳 : この年、父蔡鐸が「中山世譜」の編纂を開始し、

..... 1700=18歳 :

松の廊下事件1701=19歳 : 完成。

赤穂浪士討入1702=20歳 : 訓誥師になる。

..... 1706=24歳 : 講談師匠役に任命される。

沖つ拘束・1708=26歳 : 存留通事として中国へ渡り、風水を学んで来るように命じられる。

徳川綱吉没・1709=27歳 :

..... 1710=28歳 : この年、尚益が中山王に即位。_帰国後、

乾山陶器店・1712=30歳 : 尚敬の学問の師に任じられ、

和漢三才図会1713=31歳 : *尚益王の急逝で尚敬が中山王に即位して、国王専任の教授職(国師)となる。首里城・玉陵・国廟の地理検分を行って記録にまとめる。「琉球国由来記」。

徳川吉宗將軍1716=34歳 :

御蔭参流行・1718=36歳 :

..... 1719=37歳 : *尚敬が清国から冊封を受けた際、進貢使の品物の買い上げをめぐる争いが起こった時<評価事件>、事態を収拾するなど、その才能を認められて、紫冠に昇進。久米村出身者としては異例の出世をとげ、王都首里に屋敷を与えられたばかりでなく、

近松没..... 1724=42歳 : 父蔡鐸編述の史書「中山世譜」に大幅な改訂を加えて面目を一新させ、以後、蔡温本が正史となる。

..... 1725=43歳 : 服制を改定する。

..... 1727=45歳 : 百官が王のために祈ることを定める。

徂徠没..... 1728=46歳 : 父蔡鐸が死去。*最高の政治的ポスト三司官に就任、国政に敏腕をふるった。琉球ふうに具志頭文若と名づける。円覚寺大殿を王の宗廟と改め、ユタを禁止する。

梅岩心学始・1729=50歳 : 宮古・八重山の土に家譜編集を許す。

..... 1730=51歳 : 宮古・八重山の貢船を馬艦船に改める。

..... 1731=49歳 : 「家内物語」を著す。

享保大飢饉・1732=50歳 : 「御教条」の立案・発布する。八重山での強制移住を開始。

昆陽蕃蕃考・1735=53歳 : 羽地川改修工事の実施は、彼がすぐれた技術者であることも示した。

悪鋳再開..... 1736=54歳 : 凶作に備えて、各間切で囲米を実施。山林巡視を行い、以後、林政に関する定め書をつぎつぎと布達。

..... 1737=55歳 : 国中の土地を測量を開始<元文検地>、

彼の政治は、琉球における近世体制の総仕上げという特徴をもち、行政制度や農村におよぶ細かな指示がなされたほか、生産力の安定化策、治水対策、山林資源保護対策などあらゆる分野におよんでおり、また儒教的なイデオロギー政策にもとくに力を注ぐ。

梅岩没..... 1744=62歳 : 宮古・八重山に初めて医師を派遣、詰医者制度化する。

徳川吉宗隠居1745=63歳 : 「球陽」「遺老説伝」が完成。

義経千本桜・1747=65歳 : 島内を回って植林を行った際、途中で2度も尚敬王が贈物して労い、帰京の際には出迎えまでしている。

..... 1749=67歳 : 尚敬王が死去。

..... 1750=68歳 : 琉球側で実施した最初にして最後の検地となった<元文検地>が完了して地籍を確定。

徳川吉宗没・1751=69歳 :

..... 1752=70歳 : 尚穆が中山王に即位したことで、

薩摩藩工事・1753=71歳 : *ようやく老齢を理由として三司官を辞任。

山脇東洋解剖1754=72歳 :

_学者としても多くの足跡を残し、前記の他多くの実践書や、「自叙伝」ほか多くの著作を残して、

大岡忠光没・1760=78歳 :

..... 1761=79歳 : 没した。